

# 先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022



## 研究・技術シリーズ (学術機関・公設研究所等)

### 101 (一社)日本応用地質学会 九州支部

#### 災害現場から読み解く災害のメカニズム

近年では、熊本や北海道胆振東部での地震、九州や西日本での豪雨、台風などの自然災害が毎年のように発生し、多くの人的・物的被害が生じています。このような自然現象から発生する災害規模は、地形・地質の特徴によるものが大きく、まず第一に着目する必要があります。

当学会では、これからの防災・減災対策につながる一助として、応用地質学的な観点から実施している災害調査活動の事例などを紹介いたします。



阿蘇大橋崩壊地の災害碑「数鹿流崩之碑」

住所 〒812-0894  
福岡市博多区諸岡5-25-25 (日本地研株式会社 技術部内)  
TEL 092-571-2766

### 102 熊本サイエンスコンソーシアム (事務局：熊本県立第二高等学校)

#### STEAMによる防災のNEWアイデア

熊本サイエンスコンソーシアム(KSC)はSSH指定校である第二高校、熊本北高校、宇土高校、天草高校、鹿本高校の5校と理数科を有する熊本西高校、東稜高校、大津高校の計8校で熊本県における理数教育の発展と理数系ハイレベル人材育成を目指す団体です。今回は、理数系高校生の課題研究だけでなく、第二高校美術科の防災グッズのアイデアも展示します。ぜひ、次世代型科学者・クリエイターを発掘してください!



つまよじタワー耐震コンテスト参加の様子

住所 〒862-0901  
熊本市東区東町3-13-1  
TEL 096-368-4125

### 103 熊本県立南稜高等学校

#### ～林業・農業土木の技術で故郷を守る～ 球磨モンの水土林Project★

本校総合農業科環境コースでは、林業・農業土木の知識や技術を活かして、故郷である人吉球磨地域を災害から守ることをテーマに、水(治水)、土(農業土木)、林(林業)の3つのキーワードを柱として活動を行っています。水の取り組みでは、雨庭に関する研究について、土の取り組みでは、田んぼダムに関する研究について、林の取り組みでは、災害に強い森林づくりに関する研究について、それぞれまとめた内容を展示いたします。



住所 〒868-0422  
熊本県球磨郡あさぎり町上北1310  
TEL 0966-45-1131

### 105 熊本県立大学

#### 地域に生きる、県大発! 「流域治水」と「防災・減災」研究シリーズ

令和3年度、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)の共創の場形成支援プログラム・地域共創分野【本格型】に熊本県立大学を代表機関とする「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点が採択されました。今回は、本拠点の産学官連携プロジェクトに関する研究活動の紹介展示を行います。

また、熊本地震や令和2年7月豪雨災害における被災地域での取組や防災・減災に関する学内シーズを紹介いたします。



住所 〒682-8502  
熊本市東区月出3丁目1番100号  
TEL 096-383-2929

### 106 熊本高等専門学校 八代キャンパス

#### 熊本に根差した地域の防災・減災への取組み紹介

熊本高等専門学校では、広く一般的な防災・減災を目的とした研究に加え、地域に根差した防災・減災への取組みにも注力しています。熊本地震や令和2年7月豪雨では、いち早く現場に駆けつけ、被害状況を調査し、今後の災害に強い地域形成を目的とした取組みを行っています。また、ハード面だけでなくソフト面における防災教育への取組みも行っております。本出展では、このような取組み事例を紹介しています。



令和2年7月豪雨の災害調査

住所 〒866-8501  
熊本県八代市平山新町2627  
TEL 0965-53-1211

研究・技術シリーズ  
(学術機関・公設研究所等)

## 107 崇城大学

### 防災活動・災害時避難行動支援システムの開発と社会実験

古賀研究室と株式会社Vizersが共同で開発した「防災活動・災害時避難行動支援システム」を紹介します。このシステムは防災活動、災害時、復興、記録の4つのフェーズを支援します。今回は防災活動と災害時の2つの支援モードの紹介です。防災活動では、地域の皆さんがこのシステムを使って作成した地域点検マップを紹介します。そして災害時では、今後の地震を想定した要援護者の避難支援のあり方を紹介します。



防災活動・災害時避難行動支援システム

住所 〒860-0082  
熊本市西区池田4丁目22番1号  
TEL 096-326-3418

## 108 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門

### 自然災害に柔軟・迅速に対応できる減災型社会の実現に向けて

本部門では、自然災害に柔軟かつ迅速に対応可能な減災型社会の実現と持続的な展開を目指し、研究・教育に取り組んでいます。防災・減災に関する調査研究と技術開発、それらの社会への実装、ならびに防災・減災教育により減災型社会の実現を目指し、地域の方々、气象台、社会福祉協議会、学校等教育機関、各種企業、NPOの方々と積極的に連携と対話を図り活動しています。

CWMD 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター



減災型社会システム部門  
持続可能な減災型の地域社会  
実現のために



住所 〒860-8555  
熊本市中央区黒髪2-39-1  
TEL 096-342-3489

## 109 熊本県工業高等学校長会

### 高校生の若い力で災害から地域を守る

県立工業関係校の高等学校における教育の活動内容や、防災教育の一環として、「平成28年熊本地震」や「令和2年7月豪雨」などの体験を基に、ハードソフトの両面から防災・減災に関する探求的な学習や研究を進めている工業高校での生徒たちの活動や取組を紹介します。



防災教育でマイタイムライン作成しています

住所 〒862-0953  
熊本市中央区上京塚町5番1号  
TEL 096-383-2105